

## ◎ 定例会 『室内屋内で学ぶ②』

テーマ：どうなっている今の日本経済 講師：明瀬 政治 元教授  
 開催日・場所：2025年2月6日(木) 快晴・勤労福祉会館2階会議室(大)  
 参加者数：21名(男性14名+女性7名)+同伴者2名

「室内で学ぶ」という表題で新しいテーマを考えていた所 例会の幹事から楽器演奏の間に経済学教授のOBがいるという話を頂き、過去に“経済関連”の定例会の開催が無かったことを確認致しましたが、興味のある方が多くいるのではと考え開催に向けてお願いすると快諾を頂き開催に至る事が出来ました、「どうなっている今の日本経済？」をテーマとして募集したと

ころ今迄の男女比とは異なりましたが開催する事が出来ました。



<講義内容>講義は自己紹介でベビーブーム世代生まれと紹介され黒板とチョークを多用し、昭和40年代東京の大学進学率が15%から全国現在値40%に増加し、出生数が260万人から70万人割れ等の大きな変化があった等から始まり、「黒板とチョーク」を使って講義を進めていった。聴講者を指名し回答を引き出すなど昔授業を受けた事を思い出すように、回答から講演内容を調整されるなど、先生の長年の教壇経験が生き、聴講者の興味をつなぎ止め、懐かしく思われる方もおられました。

講義内容はマクロ経済学「ケインズ派」の特徴をご自身の学生時代に受けた授業の説明話から始まり、「日本経済の枠組み」「戦後の成長戦略」「色々な

構造変化・バブル」過去に経済破綻した原因解明等、過去にGDP世界2位だった日本の現在値、為替の変動、給料が上がらなかった要因など講師と聴講者と応答の中から質問を変えながら回答を確認しながら話を進められました。

### <質疑応答>

予定の講義時間があっという間に終わり、質疑応答の時間を設けた所、女性男性からの予想を超える数の質問を頂き、予定時間の30分が経過した為終了の発言をすると、聴講者から名残惜しそうに拍手が沸き、拍手が収まらず又聞きたいという声も聞こえた中無事終了いたしました。

その後、一部の有志が先生を囲み居残り授業、席を変え延長戦を明瀬先生、奥様と馴染の場所にて懇談を行い、最後に大泉学園駅の名物 OIZUMI ANIME GATE でアニメの銅像群を鑑賞いただきイベントを終了する事が出来ました、今後もこのようなイベントを開催したいと思いました。



<報告：比与森 賢実>